

平成30年度 情報理工学域 学生募集要項

先端工学基礎課程(夜間主課程) 「AO入試」 「特別編入学」

出願期間	平成29年11月1日(水)～11月6日(月)
選抜期日	平成29年11月20日(月)・11月21日(火)
合格発表	平成29年11月30日(木)

先端工学基礎課程は、原則として夜間の修学を希望する社会人を対象としますが、社会人以外でも、夜間の修学を必要とする方は出願できます。

なお、本募集要項は1年次への入学者を対象とする「AO入試」及び3年次への編入学者を対象とする「特別編入学」の2つの入試について掲載しています。



国立大学法人
電気通信大学
The University of Electro-Communications



電気通信大学は2018年に100周年を迎えます

目 次

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）と 入学者選抜の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
--	---

1. 情報理工学域 先端工学基礎課程（夜間主） 「AO入試」	
1- 1. 募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
1- 2. 出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
1- 3. 出願要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1- 4. 出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1- 5. 選抜方法等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
1- 6. 合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
1- 7. 入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
1- 8. 入学の辞退・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
1- 9. 入学料・授業料等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
1-10. 長期履修制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
1-11. 出願・受験に当たっての注意事項・・・・・・・・	8
2. 情報理工学域 先端工学基礎課程（夜間主） 「特別編入学」	
2- 1. 情報理工学域について・・・・・・・・・・・・・・	9
2- 2. 募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
2- 3. 編入年次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
2- 4. 出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
2- 5. 出願要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
2- 6. 出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
2- 7. 選抜方法等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
2- 8. 合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
2- 9. 入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
2-10. 入学料・授業料等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
2-11. 長期履修制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
2-12. 出願・受験に当たっての注意事項・・・・・・・・	13
2-13. 編入学後の履修等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3. 障害がある者等の出願・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
4. 平成29年度先端工学基礎課程入試実施結果・・・・・・・・	15

- 封入物（AO入試） 入学志願票・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付票，志望理由書，
志願者評価書，検定料払込用紙（金額欄に10,000円の印字があるもの 5連）
- （特別編入学） 入学志願票・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付票，調査書，
検定料払込用紙（金額欄に18,000円の印字があるもの 5連）
- （共通） あて名票，出願書類送付用封筒，受験票等送付用封筒

《個人情報取り扱いについて》

出願に係る提出書類及び選抜に用いた試験成績等の個人情報については，入学者選抜，入試・学生支援関連業務のみに使用します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）と入学者選抜の基本方針

電気通信大学は、人類の持続的発展に貢献する知と技の創造と実践を目指し、社会とともに発展を続けてきました。科学・技術の発展を先導し、知識基盤社会を支える高度な人材を育成することは、大学の最も重要な使命です。

この使命のもと、社会的課題の解決に寄与し、人々が心豊かに生き甲斐を持って暮らせる社会の実現に貢献するためには、もの、エネルギー、情報の交換による、「人」、「自然」、「社会」、「人工物」の間の相互作用を正しく理解し、それを通じた価値の創造が不可欠です。

本学は、そのような価値の創造をもたらす科学・技術体系を、広義のコミュニケーションの視点から「総合コミュニケーション科学」と捉え、これに関する教育研究の世界拠点となることを目指します。そして本学は、そのための取り組みを通じて、21世紀の世界に貢献したいと考えます。

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【情報理工学域】

「総合コミュニケーション科学」の基盤となる情報、通信、電子、機械、ロボティクス、光科学、量子物性、基礎科学等の情報領域、理工領域はもとより、両者の融合による革新的学際領域において、新しい価値の創造に貢献することがますます期待されています。

電気通信大学では、時代の要請を踏まえ、学生自らが、成長にあわせて段階的・探究的に専門分野を選択し、高度な専門性と総合力を身につける学修者主体の教育を実施します。

情報、融合、理工の各領域において、基礎学力と倫理観を備え、国際性、応用力、実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学修能力を持ち、社会との関わりの中で大きく成長していくことのできる人材を育成します。その過程においては、科学的思考力、俯瞰力、倫理意識、論理的コミュニケーション能力等の涵養を大切にします。また、学士課程と修士課程（博士前期課程）の一貫性も教育課程の大きな特徴であり、学域における学びが、先端的な学問研究へと展開します。

このような教育方針に沿って、以下のような資質・能力・意欲を持った皆さんを、広く国内外から受入れます。

【情報理工学域・求める学生像】

「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる領域に不可欠な自然科学および数学に強い興味と探究心を持ち、その学修およびディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づく教育の実現のために必要な基礎学力と論理的思考力・判断力・表現力を有し、多様な人々と協働しながら主体的に学ぼうとする意志の強い皆さんを求めます。

情報、融合、理工、それぞれの領域において、修得した知識と技術を活用して広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

【I類（情報系）】

情報に関わる学問の基礎を広く学びます。情報を対象とする学問は多様であり、その領域は広範です。例えば情報それ自体を取り扱う学問には、情報の本質や実態を追究する分野、表現や加工、活用の技術や手法を開発する分野、また、情報の流通・収集・蓄積に関わる通信ネットワークの分野などがあり、それぞれが独立した学問として発展しています。

一方で情報に関わるすべての学問は相互に影響し合い、情報化社会を支えています。そのため次世代の情報化社会を先導する担い手には、一つの専門分野に軸足を置きつつハード・ソフトの両面を理解し、複数の専門分野にまたがる広い視野を持つことが求められます。I類では、情報に関わる分野全般に共通するコンピュータ、アルゴリズム、プログラムなどを学ぶとともに専門分野の基礎を身につけ、その後は「メディア情報学」、「経営・社会情報学」、「情報数理工学」、「コンピュータサイエンス」という教育プログラムのいずれかで、専門性を高めます。

【I類（情報系）・求める学生像】

目まぐるしく変化する現代社会における情報形態の多様化、情報量の拡大といった環境の変遷に対応して、「人と人」、「人ともの」、「人と社会」のコミュニケーションの高度化が、これからの社会の発展に必要な不可欠となっています。情報の生成から、収集、流通、蓄積、加工および活用までを総合的に扱う学問である「情報学」を学び、身につけ、次世代の情報化社会を支える技術の創成を担う科学者・技術者を目指そうとしている人を歓迎します。

特に推薦入試では、数学や情報、そしてプログラミングが好きな人を求めます。数学あるいは情報分野における国際オリンピック等に参加や受賞した人を歓迎します。

【Ⅱ類（融合系）】

本類は数学と物理を科学的思考力の基礎として、情報学と理工学をともに系統的に深めることができる類です。情報学と理工学は、電子、情報、通信、セキュリティ、計測・制御、メカトロニクスなどの共通の基礎です。

Ⅱ類では、これらの領域を包含する5つの教育プログラム「セキュリティ情報学」、「情報通信工学」、「電子情報学」、「計測・制御システム」、「先端ロボティクス」を用意しています。それぞれにおいて、基礎性、専門性、俯瞰力、倫理観、社会性、国際性、論理的コミュニケーション能力を確立し、応用力、実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学修能力を養う教育を実施します。

【Ⅱ類（融合系）・求める学生像】

情報学と理工学の基礎をなす数学、理科（特に物理）および英語に興味と学力を有し、それらの学修をさらに深めていく意志を持つ人を求めます。また、本類が目指す情報学と理工学の融合に関心を持ち、それを成し遂げるための論理的コミュニケーション能力、主体性、目的達成力を持つ人を求めます。とりわけ、独創性を持つ人を歓迎します。

特に推薦入試では、科学的思考力を支える好奇心、広い意味でのシステムづくりやものづくりへの関心、専門性を高める意志、将来の応用を支える倫理観、社会性を有する人を求めます。理学、工学や情報学の基礎となる分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等に参加や受賞した人を歓迎します。

【Ⅲ類（理工系）】

理工学の基盤となる物理学、化学などの自然科学や数学を基礎から体系的に学び、その主要な構成分野である「機械システム」、「電子工学」、「光工学」、「物理工学」、「化学生命工学」の中から学生自ら探究的に選択し各分野に進みます。専門教育では、講義だけでなく、演習や実験を通して高度な専門性と実践力・総合力を養います。

また、広く理工学分野の教養を育みながら、科学技術の発展と自然環境や国際社会との調和を実践できる倫理観および社会性・国際性を養います。その過程で、自身の考えを他者と共有するための論理的コミュニケーション能力も養います。

【Ⅲ類（理工系）・求める学生像】

理工学の基盤となる自然科学や数学に強い興味と探究心を持ち、その学修のために必要な基礎学力と論理的思考力を有し、主体的に学ぼうとする意志の強い人を求めます。また、読解力や文章力、口頭表現力など基本的なコミュニケーション能力を有することを求めます。自然環境や国際社会に関心が高く、広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

特に推薦入試では、課題解決能力や実践力、プレゼンテーション能力を有する、問題意識の高い人を求めます。理数系分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等に参加や受賞した人を歓迎します。

【先端工学基礎課程（夜間主）】

社会人および夜間の修学を必要とする人に対して「総合コミュニケーション科学」に関わる科学・技術に必要な専門教育の機会を提供するために、夜間主課程を設置しています。産業界における技術的課題を工学的に読み解き解決するために必要な基礎力および応用力を身につけた専門的職業人を育成します。

また、実務で必要となる技術者倫理や知財・特許管理を学ぶとともに、国際的に通用する論理的コミュニケーション能力の基礎を養います。

【先端工学基礎課程（夜間主）・求める学生像】

自然科学および数学に関する知識と技術の修得に努め、技術革新や産業構造の変化に対応しつつ広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人を求めます。

≪Ⅰ類(情報系),Ⅱ類(融合系),Ⅲ類(理工系),先端工学基礎課程共通≫

入学までの段階で修得が望ましい教科内容と水準

- 1) 数学は、基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を論理的に考察し数学的に処理する能力を有していること、特に、数学Ⅲまでの履修が望ましく、数学Ⅲまでの微積分の基礎知識を使って、様々な関数のグラフを描いたり、速度・加速度や簡単な図形の面積や体積を計算できること。さらに、複素数平面の基礎的事項を理解していること。
- 2) 理科は、出来るだけ多くの科目に興味を持ち、正しい自然観・宇宙観が育まれていること、特に、物理基礎、化学基礎に加えて物理、化学の履修が望ましく、物理の分野では、力学、電磁気学、熱、波動などに関連する現象を論理的かつ数理的に捉えてそれを説明でき、化学の分野では、化学結合の概念や物質の構造及び性質を理解し、化学の成果が日常生活の様々なところで役立っていることを認識し説明できること。
- 3) 英語は、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に活用したコミュニケーション能力を有し、さらに、基本的な読解力、平易な英文を辞書なしで読み進んでいくことのできる語彙力・文法力や、あるトピックを一つのパラグラフ程度にまとめることのできる英作文能力を有していること。
- 4) 国語は、言葉を通して的確に理解し、論理的に考え、効果的に表現し伝え合う能力を有すること、特に、他者の考え方についての理解力、自分の考え方を相手に伝えられる文章力と口頭表現力を有すること。
- 5) 他の教科・科目については基礎レベルの知識・理解を有すること。

注：水準はあくまでも高等学校における学習の目安であり、履修の有無でもって合否判定するものではありません。

2. 入学者選抜の基本方針

入学者の受入れに際しては、高等学校段階における学びの成果・実績の評価も含め、多様な選抜を実施します。一般入試、推薦入試、A0入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試及び特別編入学試験の入試方法に応じて、大学入試センター試験、個別学力検査、総合問題試験、面接試験、調査書及びその他の提出書類のいずれかを組み合わせ、本学域での学修において求められる資質、能力、学力等について総合的に判断し、選抜を行います。

先端工学基礎課程においては、以下のとおり選抜を行います。

1) A0入試(先端工学基礎課程)

選抜は、総合問題試験、面接試験及び出願書類を総合して行います。

総合問題試験は、理工学分野を学ぶために必要な理数的基礎知識や読解力、作文能力、論理的思考力等を問う問題を課し、面接試験では、志望動機、主体的な勉学意欲及び就業の状況等に関する質問や数学、理科の基礎学力についての試問を行い評価します。

2) 特別編入学(先端工学基礎課程)

選抜は、総合問題試験、面接試験及び出願書類を総合して行います。

総合問題試験は、理工学分野を学ぶために必要な理数的基礎知識や読解力、作文能力、論理的思考力等を問う問題を課します。面接試験では、志望動機、主体的な勉学意欲、自己表現能力、理工系の基礎学力を問う試問を行い評価します。

1. 情報理工学域 先端工学基礎課程（夜間主） 「AO入試」

1-1. 募集人員

	課 程	募 集 人 員
情報理工学域	先端工学基礎課程(夜間主)	30 名

先端工学基礎課程(夜間主)… 授業は、平日の17時50分から21時までと、土曜日の9時から17時45分までに開講します(この時間帯のすべてに授業があるわけではありません)。昼間の3つの類の一部の授業を受けることもできます。

1-2. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、出願要件を満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の①から⑥までのいずれかに該当する者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学検定に合格した者を含む。)及び平成30年3月までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

(注1) 出願資格(3)の⑥により出願を希望する者は、あらかじめ入学資格審査を行いますので、**平成29年9月15日(金)**までに入試課に申請してください。

(注2) 入学後の学習には、次の科目の内容を理解していることが必要不可欠であるので、志願者は、次の科目を履修していることが望ましい。

・「**数学Ⅲ**」，「**物理**」，「**化学**」

(注3) この選抜に出願する者は、「情報理工学域 推薦入試」及び「情報理工学域 先端工学基礎課程特別編入学」への**出願はできません**。

(注4) 外国人留学生は先端工学基礎課程(夜間主)に出願できません(夜間主の場合、在留資格「**留学**」にはなりません)。

1-3. 出願要件

原則として夜間の修学を希望する社会人を対象とし、高度コミュニケーション社会を支える科学技術体系「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる自然科学及び数学に関する知識と技術の修得・更新に努めようとする意欲のある者で、合格した場合に入学を確約できる者。

ただし、社会人以外でも、夜間の修学を必要とする者には出願を認めます。夜間の修学を必要とする理由としては、たとえば、経済的事情などが挙げられます。

1-4. 出願手続

(1) 出願期間

平成29年11月1日(水)から11月6日(月)まで (11月6日(月)必着)

(注)郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

(2) 出願書類等

出願書類等は、一括取りそろえ、本募集要項添付の封筒を用いて、簡易書留郵便で出願期間内に必ず到着するよう郵送してください。郵送以外は受け付けませんので注意してください。

出願書類		注 意 事 項
1	※入学志願票	本募集要項添付の用紙に必要事項を記入してください。 上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, デジタルカメラ等で撮影した場合、普通紙に印刷したものは不可)を写真票及び受験票の指定欄に貼ってください。
2	※写真票	
3	※受験票	
4	※振替払込受付 証明書貼付票	金融機関の日附印が押印されている「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」を所定欄に貼ってください(6.「入学検定料」を参照)。
5	調査書	<p>① 文部科学省で定めた様式により、出身高校等の学校長が作成し厳封してください(大学等を卒業した者についても、大学等ではなく出願資格となる出身高等学校等の調査書を提出してください)。</p> <p>② 出願資格(3)の⑤によって出願する者は、その合格(見込)成績証明書をもって調査書に代えます。なお、成績証明書に免除の科目がある者は、学校長が発行した当該科目についての成績証明書や、資格試験等の成績証明書等を併せて提出してください(厳封されていること)。</p> <p>平成29年度第2回高等学校卒業程度認定試験に出願(出願予定)の場合は、文部科学省から発行された同認定試験受験票の写しを提出してください。なお、この場合は、入学手続後に同認定試験の合格成績証明書を速やかに提出してください。</p> <p>③ 専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者は、その成績証明書をもって調査書に代えます。</p> <p>④ ①～③以外の者は、出願資格を有することの証明書及び成績証明書をもって調査書に代えます。</p> <p>⑤ やむを得ない事情により、調査書を提出することができない場合は、次によることとします。</p> <p>指導要録の保存期間の経過及び廃校、被災その他の事情により、出身学校長の調査書が得られない場合は、<u>(ア)卒業(見込)証明書</u>に加えて<u>(イ)単位修得証明書又は成績通信簿の写し等の入学志願者が提出できる書類</u>をもって調査書に代えます。</p> <p>なお、(イ)の書類を提出できない場合は、(ア)及び出身学校長が作成した、単位修得証明書の発行ができない旨を証明する書類を提出してください。</p>
6	入学検定料	① 10,000円を本募集要項添付の払込用紙により金融機関から払い込み、日附印を受けてください。なお、ATM(現金自動預払機)ではなく、必ず金

		融機関窓口から払い込んでください（払込用紙は2種類添付されているので注意）。 ② 払込手数料は、志願者本人の負担です。 ③ 払い込んだ後、「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」（払込用紙右端）を上記4の振替払込受付証明書貼付票の所定欄に貼ってください。
7	※志望理由書	本募集要項添付の用紙に、志願者本人が自筆で記入して下さい。
8	※志願者評価書	本募集要項添付の用紙を用いて評価者が作成してください。 なお、評価者は、志願者の親族（3親等以内）を除いた、志願者をよく理解している人としてください。
9	※受験票等 送付用封筒	本募集要項添付の封筒（上部に「速達」の印刷がある）に、受験票の受取を希望する住所と氏名を明記し、 362円 分の切手を貼ってください。
10	※あて名票	合格通知書等の受取を希望する住所と氏名を記入してください。
11	その他	日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する住民票(在留資格、在留期間及び国籍の記載されたもの)を提出してください。なお、住民登録していない者はパスポートの写し(氏名、生年月日、性別が記載されている箇所)を提出してください。

(注) ※印の付されたものは、本募集要項に添付しています。
出願書類の記入には、黒又は青のペンかボールペンを使用してください。

1-5. 選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、総合問題試験、面接試験及び出願書類を総合して行います。

選抜期日及び試験内容

選抜期日	時 間	区 分	内 容	場 所
11月20日(月)	10時～12時 (120分)	総合問題 試 験	理数的基礎知識、読解力、作文能力、論理的思考力等を問います。 課題は英文で与えることがあります。	電気通信大学
11月21日(火)	9時30分～	面接試験	志望動機、勉学意欲及び就業の状況等に関する質問を行います。さらに、数学、理科等の基礎学力について試問を行う場合があります。 なお、集団面接とする場合があります。	

1-6. 合格者発表

- (1) 平成29年11月30日(木)午前10時に本学構内入試用掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。
- (2) 合格者の受験番号は、本学のウェブサイト(<http://www.uec.ac.jp/>)においても「11月30日(木)10時30分頃」から発表日も含めて7日間掲載する予定です。

(注)電話、メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

1-7. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を送付します。

なお、入学手続の際に「受験票」が必要となりますので、紛失等しないよう保管してください。

合格者は、次の期間に持参又は郵送により入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

・持参の場合：平成29年12月7日(木)・12月8日(金)の10時から16時まで

・郵送の場合：平成29年12月8日(金)までに必着

(2) 入学手続場所

電気通信大学入試課

(3) 入学手続を完了した者は、他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。特に一般入試の前期、後期日程試験を受験しても、その合格者とはなりませんので注意してください。

(入学辞退を許可された者を除く、「1-8 入学の辞退」参照。)

1-8. 入学の辞退

合格者は、入学手続を行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、平成30年2月13日(火)(必着)までに「入学辞退願(任意の様式)」が電気通信大学長に提出された場合に限り、入学の辞退を許可することがあります。

1-9. 入学料・授業料等

1. 納入金

入学料	141,000円
授業料(前期分)	133,950円 (年額 267,900円)
計	274,950円

(注1) 上記の金額は、改定されることがあります。

(注2) 入学料・授業料の納入方法、及びその他の提出書類等については別途通知します。

(注3) 授業料については前期分の納入の際に、申し出により後期分も合わせて納入することができます。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2. 上記納入金の他に、諸会費として学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料等があり、入会等のご案内は別途通知する予定です。

1-10. 長期履修制度

長期履修制度は、学生が職業を有する等の事情により、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了する制度です。

授業料は、標準の修業年限における授業料の総額と同額を、認められた長期履修期間の年数で除した額をそれぞれの年にお支払いいただきます。長期履修期間は最長で8年間です。申請は入学手続時のほか在学中に行うこともできます。

詳細については、事前に教務課学域教務係(Tel.042-443-5076)までお問合せください。

1-11. 出願・受験に当たっての注意事項

1. 選考の結果、不合格となった者で、本学が実施する一般入試の受験を希望する者は、次のことに留意してください。
 - (1) あらかじめ大学入試センター試験に出願し、本学が指定する「受験を要する教科・科目」を受験しなければなりません。（平成30年度大学入試センター試験の出願期間は、平成29年9月26日(火)から10月6日(金)まで）
 - (2) 一般入試学生募集要項を参照のうえ、所定の出願手続きを行ってください。
2. 納入済の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - (1) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
 - (2) 検定料を振り込んだが出願書類が受理されなかった場合
 - (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(注1) 返還の手続等については、志願者本人に連絡します。

(注2) 返還に伴う払込手数料は志願者本人の負担となります。
3. 出願書類の受理後は、記載事項等の変更及び出願書類の返還は認めません。
4. 出願書類の記載事項と相違する事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
5. 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、AO入試の可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されますのでご了承願います。

2. 情報理工学域 先端工学基礎課程（夜間主） 「特別編入学」

2-1. 情報理工学域について

本学では、平成28年4月に情報理工学部を情報理工学域に改組しました。

これに伴い、平成30年度情報理工学域第3年次特別編入学試験は、本募集要項に記載のとおり改組後の組織及び課程定員(募集人員)等により実施します。

改組の概要

情報理工学部を「情報理工学域」に改称し、先端工学基礎課程（夜間主）は、従来の「社会人コース」及び「インターンシップコース」のコース制から、原則として、夜間の修学を希望する社会人を対象とする教育を行う夜間主課程に再編しました。

情報理工学域には、昼間の授業を履修する3つの類と夜間を主とした授業を履修する1つの課程を設けていますが、「先端工学基礎課程（夜間主）」は他の3つの類と同じ4年の修業年限で、同程度の授業内容を履修し卒業できるように工夫されています。

特別編入学にあつては、出身学校で履修した科目の単位は、本学で審査の上、一定の単位数まで認定され、3年次に編入学後、原則として2年間で卒業できます。

2-2. 募集人員

	課 程	募 集 人 員
情報理工学域	先端工学基礎課程(夜間主)	3 名

2-3. 編入年次

3年次とします。

編入学後の履修については、13ページを参照してください。

2-4. 出願資格

- (1) 高等専門学校又は短期大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上でかつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上のものに限る。)を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (3) 大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (4) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (6) 大学(前号の教育施設を含む。)に2年以上在学(平成30年3月までに2年以上の在学となる者を含む。)し、64単位以上を修得(見込みを含む。)した者
- (7) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科(修業年限が2年以上のものに限る。)を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

(注1) 上記の高等専門学校、短期大学、専修学校、高等学校等及び大学は、学校教育法(昭和22年法律第26号)により定められたものに限り、**(※各省庁設置の大学校からの編入学は認められません。)**

(注2) 大学に在学中の者は、在籍したまま受験することができます。ただし、3月末日までに当該大学の退学証明書を必ず提出してください。

(注3) 上記(6)において、所定の単位を修得見込の者が、平成30年3月までに修得できなかった場合には、**入学許可を取り消します。**

(注4) この選抜に出願する者は「情報理工学域 先端工学基礎課程 AO入試」への**出願はできません。**

(注5) 外国人留学生は先端工学基礎課程(夜間主)に出願できません**(夜間主の場合、在留資格「留学」にはなりません。)**。

2-5. 出願要件

本課程は原則として夜間の修学を希望する社会人を対象としますが、社会人以外でも、夜間の修学を必要とする者には出願を認めます。夜間の修学を必要とする理由としては、たとえば、経済的事情などが挙げられます。

2-6. 出願手続

(1) 出願期間

平成29年11月1日(水)から11月6日(月)まで (11月6日(月)必着)

(注)郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

(2) 出願書類等

出願書類等は、一括取りそろえ、本募集要項添付の封筒を用いて、簡易書留郵便で出願期間内に必ず到着するよう郵送してください。郵送以外は受け付けませんので注意してください。

出願書類		注 意 事 項
1	※入学志願票	本募集要項添付の用紙に必要な事項を記入してください。
2	※写真票	上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, デジタルカメラ等で撮影した場合、普通紙に印刷したものは不可)を写真票及び受験票の指定欄に貼ってください。
3	※受験票	
4	※振替払込受付証明書貼付票	
5	※調査書	必ず本募集要項添付の用紙を用い、出身学校長が作成の上、厳封してください。 なお、学校での作成にかかる場合がありますので、余裕をもって依頼するようにしてください。 学校における作成方法など不明な点がある場合は、 必ず事前に入試課までお問い合わせください。
6	入学検定料	① 18,000円 を本募集要項添付の払込用紙により金融機関から払い込み、日附印を受けてください。なお、ATM(現金自動預払機)ではなく、必ず金融機関窓口から払い込んでください(払込用紙は2種類添付されているので注意)。 ② 払込手数料は、志願者本人の負担です。 ③ 払い込んだ後、「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」(払込用紙右端)を上記4の振替払込受付証明書貼付票の所定欄に貼ってください。
7	※受験票等送付用封筒	本募集要項添付の封筒(上部に「速達」の印刷がある)に、受験票の受取を希望する住所と氏名を明記し、 362円 分の切手を貼ってください。
8	※あて名票	合格通知書等の受取を希望する住所と氏名を記入してください。
9	その他	① 出願資格(6)による出願で、所定の単位を修得見込の者は、履修中の科目及び履修予定の科目の科目名と単位数が記載された書類を提出してください(所属大学等で作成した科目の一覧表に印を付けたものなどで良い)。 ② 出願資格(7)による出願の者は、高等学校等が発行する修業年限2年以上で、かつ、文部科学省告示第63号又は第64号の基準を満たす課程を修了(見込)したことを証明する証明書を提出してください。 ③ 日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する住民票(在留資格、在留期間及び国籍の記載されたもの)を提出してください。なお、住民登録していない者はパスポートの写し(氏名、生年月日、性別が記載されている箇所)を提出してください。

(注) ※印の付されたものは、本募集要項に添付しています。

出願書類の記入には、黒又は青のペンかボールペンを使用してください。

2-7. 選抜方法等

入学者の選抜は、総合問題試験、面接試験の結果及び出願書類を総合して行います。

選抜期日及び試験内容

選抜期日	時 間	区 分	内 容	場 所
11月20日(月)	10時～12時 (120分)	総合問題 試 験	理数的基礎知識，読解力，作文能力，論理的思考力等を問います。 課題は英文で与えることがあります。	電気通信大学
11月21日(火)	9時30分～	面接試験	複数の面接委員による個人面接を行い，志望動機，勉学意欲，自己表現能力，理工系の基礎学力などについて評価します。	

2-8. 合格者発表

(1) 平成29年11月30日(木)午前10時に本学構内入試用掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに，合格者には合格通知書を送付します。

(2) 合格者の受験番号は，本学のウェブサイト(<http://www.uec.ac.jp/>)においても「11月30日(木)10時30分頃」から発表日も含めて7日間掲載する予定です。

(注)電話，メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

2-9. 入学手続

合格者には，合格通知書とともに入学手続書類を送付します。

なお，入学手続の際に「受験票」が必要となりますので，紛失等しないよう保管してください。

合格者は，次の期間に持参又は郵送により入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

- ・持参の場合：平成29年12月7日(木)・12月8日(金)の10時から16時まで
- ・郵送の場合：平成29年12月8日(金)までに必着

(2) 入学手続場所

電気通信大学入試課

2-10. 入学料・授業料等

1. 納入金

入学料	141,000 円	
授業料(前期分)	133,950 円	(年額 267,900 円)
計	274,950 円	

(注1) 上記の金額は，改定されることがあります。

(注2) 入学料・授業料の納入方法，及びその他の提出書類等については別途通知します。

(注3) 授業料については前期分の納入の際に，申し出により後期分も合わせて納入することができます。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

2. 上記納入金の他，諸会費として〔学生教育研究災害傷害保険料，学研災付帯賠償責任保険料〕等があり，別途通知する予定です。

2-11. 長期履修制度

長期履修制度は、学生が職業を有する等の事情により、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了する制度です。

授業料は、標準の修業年限における授業料の総額と同額を、認められた長期履修期間の年数で除した額をそれぞれの年にお支払いいただきます。長期履修期間は最長 4 年間です。申請は入学手続きのほか在学中に行うこともできます。

詳細については、事前に教務課学域教務係(Tel.042-443-5076)までお問合せください。

2-12. 出願・受験に当たっての注意事項

1. 出願書類を受理したときは、受験票を郵送します。
2. 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
3. **納入済みの検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。**
 - ・検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
 - ・検定料を振り込んだが出願書類が受理されなかった場合
 - ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合(注)返還に伴う払込手数料は志願者本人の負担となります。
4. 出願後における記載事項等の変更は認めません。
5. 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
6. 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
7. 本学では受験者の宿泊に関する斡旋・紹介は行いませんので、各自で準備してください。

2-13. 編入学後の履修等

1. 編入学後の修業年限、卒業資格及び学位

卒業には学域に 2 年以上在学(最高在学期間は 4 年で、その期間には休学期間は含まれません。)し、出身学校で修得した単位のうち本学が認定した単位を含めて、次表に示した単位数以上修得しなければいけません。なお、卒業生には学士の学位が与えられます。

2. 編入学後の履修について

学域 3 年次に編入しますが、編入学後は各学科等で定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければいけません。なお、卒業までに修得すべき単位と編入学の際に認定される単位は次表(次ページ)のとおりです。この表は認定しうる最高単位数を決めたもので、各人に対する認定は、出身学校における履修授業科目、成績証明書に記載された成績を考慮して行いますが、出身学校における単位の修得状況によっては、認定しうる単位が限定される場合があります。2 年間で卒業できないことがあります。

特別編入学生（夜間主）の履修単位の認定基準

区 分		包括認定単位数 認定しうる最高単位数 (高専・短大・専修学校・大学等)	卒業に必要な単位数	
総合文化科目	人文・社会科学科目【※】	6	8	
	言語文化科目【※】 (注1)	2	8	
		4		
	健康・スポーツ科学科目	2	2	
	理工系教養科目	2	2	
	上級科目	0	4	
計	16	24		
実践教育科目	初年次導入科目(注2)	6	8	
	産学連携教育科目	0	4	
	技術者教養科目	0	2	
	計	6	14	
専門科目(注3)	理数基礎科目	必修	(14)	14
		選択	(4)	4
		小計	(18)	18
	専門基礎科目	必修	(20)	22
		選択	(10)	10
		小計	(30)	32
	専門科目	必修	(8)	12
		選択	(18)	18
		小計	(26)	30
	計	70	80	
共通単位		0	6	
合計		92	124	

【※】 ありの科目区分は、包括認定を行う科目区分を示し、その科目区分の数字は包括認定の単位数を表す（網掛け箇所）。

【※】 なしの科目区分は、個別認定を行う科目区分で、その科目区分の数字は認定しうる最高単位数を表す。

(注1) 言語文化科目で、「Academic Presentation in English」「Academic Writing English」以外の科目で認定を行う。この2科目の単位は、履修して単位を修得しなくてはならない。

「Academic Spoken English I」（1単位）及び「Academic Spoken English II」（1単位）の科目では個別認定を行い、これ以外の4科目（4単位）で包括認定を行う。

(注2) 初年次導入科目で、「総合コミュニケーション科学」は個別認定を行わない。

(注3) 括弧内の数字は、「理数基礎科目」「専門基礎科目」「専門科目」の必修・選択の各科目区分ごとに設けられた認定上限を表し、大区分の「専門科目」全体では、「計」で記載されている70単位が認定上限となる。

3. 教員免許状

本学域において、教育職員免許法に基づき、所要科目の単位を修得した場合には、次表の免許状が与えられます。

なお、特別編入学生が教員免許状取得を目指すにあたっては、認定された科目・単位の使用に制限があるので、4月上旬頃に開催する「教職課程ガイダンス」に必ず出席してください。

また、基礎資格として学士の学位が必要です。

情報理工学域 先端工学基礎課程において取得できる教員免許状

免許状の種類・教科 学科・課程	高等学校教諭1種免許状			中学校教諭1種免許状	
	数 学	理 科	情 報	数 学	理 科
先端工学基礎課程(夜間主)	○			○	

4. 大学院(博士課程)

本学では、情報理工学研究科博士前期課程（修士）及び博士後期課程（博士）を設けています。

3. 障害がある者等の出願

障害がある者等で、受験上特別な措置及び入学後修学上特別な配慮を必要とする者は、平成 29 年 9 月 15 日(金)までに入試課に相談してください。ただし、期限について、緊急の場合はこの限りではありません。なお、相談の内容によっては、試験までに対応できず、特別措置による受験ができないことがありますので、なるべく早く相談してください。

4. 平成 29 年度先端工学基礎課程入学試験実施結果

1. A O 入試

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
30	60	53	31

2. 特別編入学（先端工学基礎課程 社会人コース）

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
5	7	7	2

【問い合わせ先一覧】

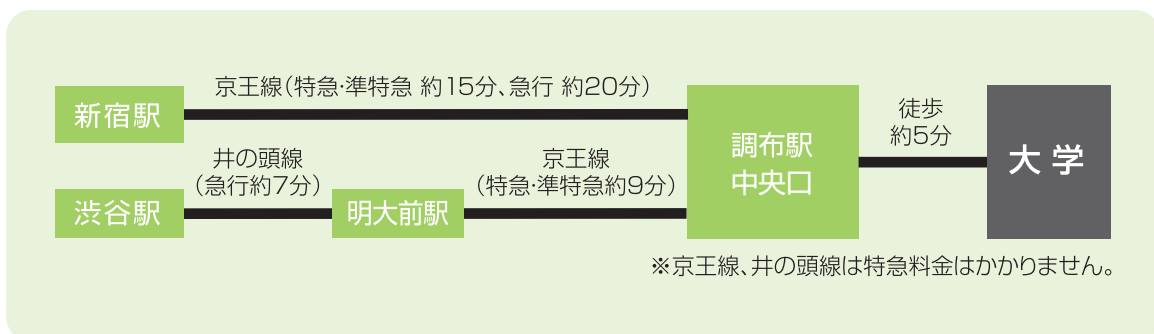
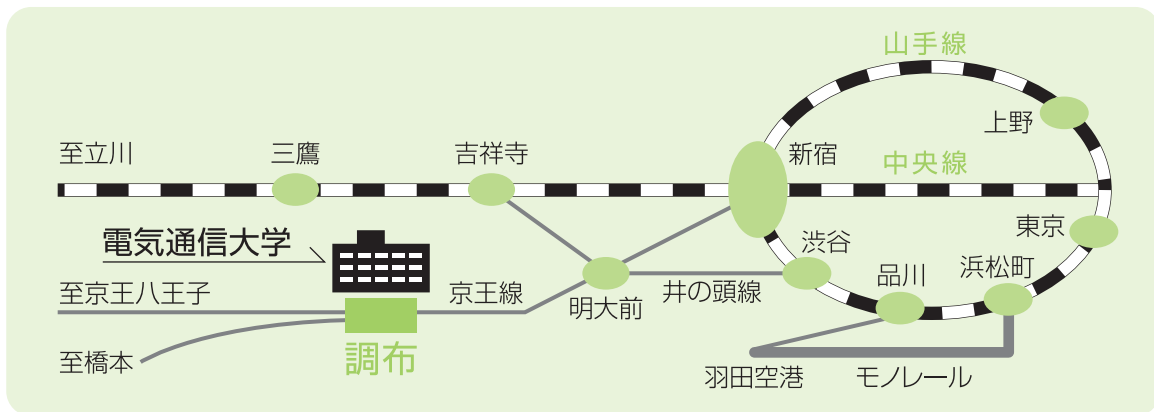
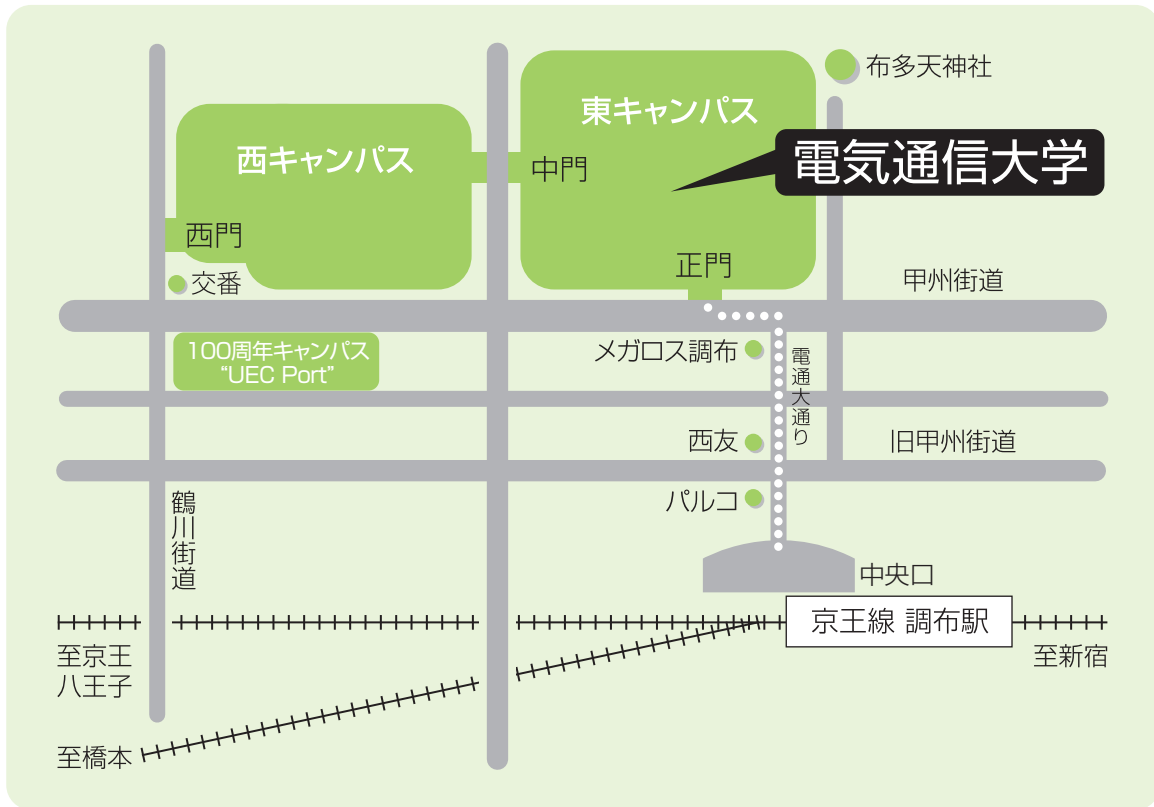
問い合わせ内容	担当（連絡先）
入学試験に関する質問	入試課入学試験係 (042-443-5103)
入学金・授業料に関する質問	財務課出納係 (042-443-5040)
入学式に関する質問	教務課教務係 (042-443-5075)
奨学金制度に関する質問	学生支援センター〔経済支援担当〕 (042-443-5090)
入学金・授業料免除に関する質問	学生支援センター〔経済支援担当〕 (042-443-5089)
学生寮に関する質問	学生支援センター〔学生宿舎担当〕 (042-443-5083)
サークル活動に関する質問	学生支援センター〔課外・厚生担当〕 (042-443-5085)
学生生活全般に関する質問	学生支援センター〔学生担当〕 (042-443-5087)
就職・進路に関する質問	学生支援センター〔就職支援担当〕 (042-443-5110)

[電気通信大学ウェブサイト]

<http://www.uec.ac.jp/>

AO入試，特別編入学に関して変更等や不測の事態が生じた場合は，本学ウェブサイトでお知らせします。

電気通信大学への案内図



電気通信大学 入試課

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

電話 042-443-5103

e-mail open-camp@office.uec.ac.jp

<http://www.uec.ac.jp/>